

あそび

議会
だより

2015.11.13

No. 59

福岡県宇美町議会

<http://www.town.umi.lg.jp/>



スポーツの秋
心と体を鍛える

平成26年度決算認定 ④

一般質問 町政を問う8人が登壇 ⑥

常任委員会報告 ⑭

9月定例会

平成27年9月定例会は、3日から17日までの15日間の会期で開きました。

町長から提出された案件は人事案7件、条例案3件、予算案2件、決算認定案5件、報告1件、住居表示の実施について、工事請負契約案1件、すべてを原案のとおり決定しました。

一般質問には、8議員の質問がありました。

平成27年度一般会計補正予算

1081万4千円を増額し、 予算総額 109億1464万8千円

(賛成多数で可決) 単位：千円未満四捨五入

社会保障・税番号制度関連 ネットワーク改修委託料

344万5千円

社会保障・税番号制度における情報連携に対応するため、庁内の番号制度専用のネットワークシステムの構築及び改修。

通知カード及び 個人番号カード交付事業

329万1千円

「番号法」の平成27年10月施行に伴い、通知カードや個人番号カードの交付に係る事務に対応するため、事務補助職員の任用やカード券面事項プリンターの購入を行うための増額。



個別療育専門士謝礼金

42万円

臨床心理士による個別療育（発達相談・療育訓練）の利用登録者数増加により約3カ月待たなければ利用できない状況。

現在週2回実施を週3回に増やすための増額。



し尿収集運搬車架装助成金

194万9千円

宇美志免浄化センターへし尿を運搬するバキューム車のアルミ架装に係る費用を助成するための増額。

宇美東小学校 防災機能強化事業

設計委託

148万9千円

平成28年度実施予定の大規模改修工事について防災機能強化に相当するものが補助対象となるため、前倒しでの実施を計画し、当該工事に係る設計委託料を増額。



井野小学校 防災機能強化事業

設計委託

1100万円減額

宇美東小学校同様に防災機能強化に相当するものについて前倒しでの実施を計画、体育館のみが該当となるため減額。

条例

宇美町個人情報保護に関する条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報の適正な取扱いを確保することについて所要の規定を整備する。

(賛成10 :: 反対3で可決)

反対討論

行政運営が効率化されるというが、番号が漏えいすることによる被害のほうがメリットよりも深刻ではないか。

賛成討論

色々問題はありますが既にスタートしている。業務執行の際には必要である。

宇美町手数料条例の一部改正

一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの交付に係る手数料について所要の規定を整備する。

(賛成10 :: 反対3で可決)

住居表示の実施

住居表示を実施する区域の追加及び該当区域における住居表示の方法

第17次事業予定地区に三原区の一部、神山手地区、原田三丁目・原田五丁目・ゆりが丘地区を追加し実施。

(全員賛成で可決)

Q

未整備地区の追加はどうか。

A

住居表示審議会とも相談のうえ、対応する。

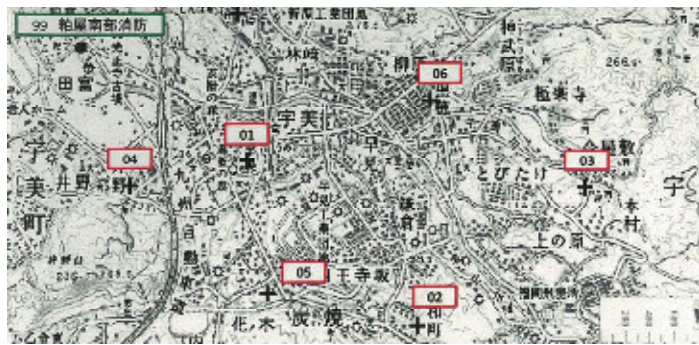
工事請負契約締結

平成27年度宇美町・須恵町・志免町南部三町モーターサイレン吹鳴装置設置整備工事

平成27年8月17日に随意契約にて工事請負人を定めた。

落札者（扶桑電通㈱九州支店）請負契約額（5643万8千円）宇美町分は（1881万3千円）

(全員賛成で可決)



モーターサイレン位置図

同意選任

宇美町教育長

山本 浩氏（再任）

承認

宇美町自治功労者の表彰

富安啓子氏

中村文子氏

宇美町教育委員会委員

金子辰美氏（新任）

宇美町選挙管理

委員会委員

土生政勝氏（再任）

林 克紀氏（新任）

糟屋郡公平委員会委員

藤田清満氏（新任）

山田正義氏（新任）

山田裕嗣氏（新任）

西川博之氏（再任）

櫻木幸弘氏（新任）

宇美町選挙管理

委員会補充員

香月規孝氏（新任）

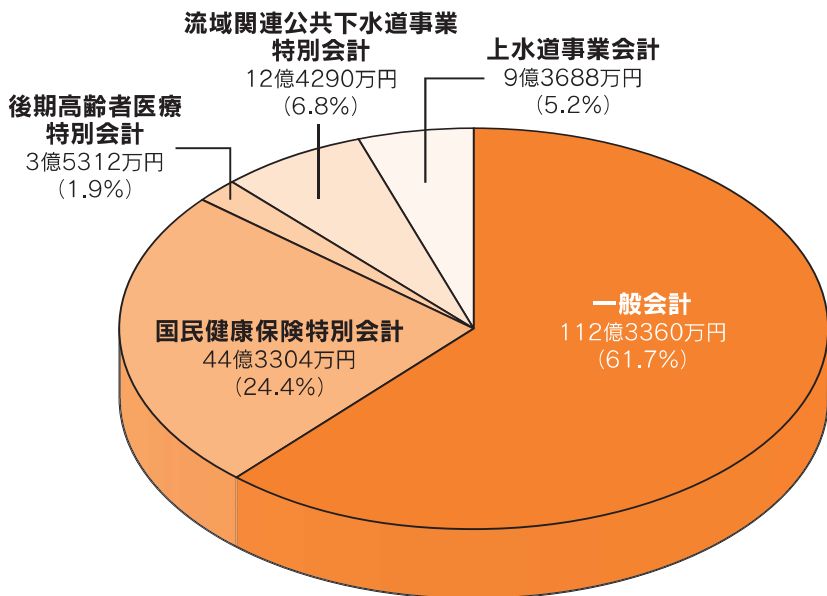
平野耕士氏（新任）

松本純三氏（新任）

櫻木幸弘氏（新任）

平成26年度

一般会計・特別会計合計で歳出総額約181億円



※上水道事業会計については、収益的及び資本的収支の合計額である。(減価償却費等を含む)

■一般会計は前年度と比較し歳入で3・7%の増、歳出4・5%の増。
 歳入増の要因は、最終処分場2期工事業の交付金、臨時福祉給付金給付事業費補助金の国庫支出金など。
 歳出増の要因は、普通財産取得費、最終処分場整備事業費、下水道費繰出金など。
 自主財源は43・2%、依存財源は56・8%、地方債は、4年ぶりに100億円を突破、基金積立金は17億3228万円、「景気は緩やかな回復基調が続いている」とされているが、今後も健全な財政運営に取り組むよう求めた。



一般会計の分析

自主財源と依存財源		単位%	割合
自主財源	町税	30.3	30.3
	その他	12.9	12.9
	合計	43.2	43.2
依存財源	地方交付税	24.4	24.4
	国県支出金	17.4	17.4
	町債	10.0	10.0
	その他	5.0	5.0
	合計	56.8	56.8
合計		歳入金額115億5708万円	

目的別歳出の状況		単位%	割合
民生費	子ども・高齢者・障害者・社会福祉	34.4	34.4
衛生費	保健・ごみ・し尿処理	18.5	18.5
総務費	交通安全施設・防犯灯整備・電算管理	11.2	11.2
教育費	学校教育・社会教育	9.6	9.6
公債費	借入金	9.2	9.2
土木費	道路・橋梁整備・公園管理	9.0	9.0
消防費	消防・防災	4.1	4.1
諸支出金	特別会計へ	1.2	1.2
農林水産業費	農業・林業整備	1.1	1.1
議会費	議会・議員関係	1.0	1.0
災害復旧費	農地・林道災害復旧	0.5	0.5
商工費	商工振興	0.2	0.2
合計		歳出金額112億3361万円	

(万円未満四捨五入)

宇美小学校学童保育所新築工事

平成27年第2回

宇美町議会臨時会

8月10日開催

平成27年第3回

宇美町議会臨時会

10月9日開催

平成26年度（平成27年3月）に実施した基本設計を基に実施設計を進める中で、当初予算で計上した予算が不足するため工事費等の増額補正を行う。

実施設計額

建築費（補助対象）

9561万9千円

外構他（補助対象外）

696万4千円

合計金額

1億258万3千円

負担金額

国交付金

3256万8千円

県交付金

3256万8千円

町負担分

3744万7千円

（全員賛成で可決）

工事概要

構造 木造2階建

延床面積

427・30㎡（約129坪）

建築面積

222・76㎡（約67坪）

予定価格

1億196万640円

請負契約金額

9176万4576円

落札者

松井工業㈱

落札率

90%

工期

契約の効力の発生の日から

平成28年3月25日まで

（価格については、すべて消費税を含む）

（全員賛成で可決）

主な採決結果一覧表

○：賛成 ●：反対

議案番号	件名	結果	時任裕史	黒川 悟	南里正秀	大瀬良利之	脇田義政	小林征男	飛賀貴夫	鳴海圭矢	藤野莞嗣	犬塚 齊	古賀ひろ子	松下弘毅	藤木 匠	白水英至
第2回臨時会 議案第29号	平成27年度 宇美町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会	議案第30号	宇美町職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第31号	宇美町個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第32号	宇美町手数料条例の一部を改正する条例について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第33号	住居表示を実施する区域の追加及び当該区域における住居表示の方法について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号	平成27年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第35号	平成27年度 宇美町一般会計補正予算(第3号)	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第1号	平成26年度 宇美町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第2号	平成26年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第3号	平成26年度 宇美町上水道事業会計利益の処分及び決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第4号	平成26年度 宇美町流域関連公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第5号	平成26年度 宇美町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第3回臨時会	議案第37号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	平成27年度 宇美町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長に表決権はありません

教育格差 解消のために

答 健やかな成長を支援



古賀 ひろ子 議員

問 平成26年度版「子ども・若者白書」によると子どもの相対的貧困率は上昇傾向。大人ひとり子どもを養育している家庭が特に経済的に困窮している。就学援助を受けている小学生・中学生の割合も上昇が続くとある。当町のひとり親家庭、生活保護、就学援助対象者の推移はどうか。住民課長

平成24年度から3年間の推移は、母子家庭385件、404件、427件と増加。父子家庭40件、43件、43件と微増。

福祉課長

生活保護被保護世帯495世帯、492世帯、499世帯。被保護人数794名、614名、811名で保護率は2・7%、2・6%、2・5%と推移。

平成26年度新規生活保護申請件数は99件、

そのうち幼児10名、小学生14名、中学生8名、高校生5名の合計37名。学校教育課長

問 平成26年度就学援助の対象者は要保護者61名、準要保護者729名、宇美町の児童生徒の23・3%、前年度より微増で推移。

問 学習機会に関する指標で宇美町における高校進学率、不登校率はどうか。課長

平成25年度98・1%、26年度92・3%の高校進学率。現在の不登校者、小学生2名で0・1%、中学生17名で1・06%。

問 寡婦（夫）控除のみなし適用の対応はどうか。子育て支援課長

今回9月の税の見直しの時点から、実施した。

問 教育格差解消のため

に具体的な事業は。学校教育課長

学力調査は全国、県で毎年実施している。学力の格差解消の対策として、就学援助、朝の時間帯を利用した基礎的な学習、昼休みや放課後の補充学習、週末課題の実施、コミュニティ・スクールの支援による学習会。中学校での土曜寺子屋、小学校でサマースクール、地域で実施する公民館学習など取り組んでいる。

問 子どもが生まれる前から貧困につながるリスクを見つけ出し、課題の解決に向けて対策を立てていくという積極的な姿勢が不可欠だと思うが。町長

育児能力向上、虐待防止等、妊娠期からアンケート調査、出産後は乳幼児全戸訪問事業など切れ目のない子育て支援の充実を図



自治公民館で中学生との交流会

◆その他の質問 若者の活躍を推進

るため、8月の機構改革で「うみハピネス」に健康づくり課、子育て支援課を配置。

問 ふみの里学びの森子どもフェスタでの子どもの主張発表を冊子にしてはどうか。教育長

最優秀の受賞者2名の内容を町の広報誌やホームページ、動画配信など、今後関係部署と協議調査研究していく。



飛賀 貴夫 議員

子どもたちを守り 活気あるまちづくりを

答 積極的に取り組む

問 大阪寝屋川市で中学1年生の男女生徒が遺体で発見された凄惨な事件が起こった。このような事件を宇美町では起こさせない為、町の考えは。

学校教育課長
事件の検証を行い効果的な対策を講じる。

問 小中学生の夏休みの実態や生活実態調査等を行ったのか。

課長 各学校では教職員、PTA、地域と合同で校区内の夜間パトロールを定期的を実施。警備保障会社と委託契約をし、各学校、町内公共施設の夜間パトロールを行う。

深夜の花火を注意したのが2件、深夜徘徊等の問題行動は特にはなかった。

問 容疑者逮捕の決めた手になったのは防犯カメラの存在だったが、当町の設置状況と設置

に対する補助金か助成金の考えは。

安全安心担当課長
設置状況は、小中学校、宇美駅、駅前輪場、原田公園、地域交流センター1立体駐車場等に計76台設置。

行政区等に対する初期設置費用の補助について研究したい。

問 宇美駅が無人化になつて治安の問題が発生している。

そこで老朽化した宇美交番を駅前広場に移動することを推進してはどうか。

また、子どもの居場所づくりを交番移設と併用、青少年センターの併設を調査研究し、調査費を来年度、予算計上してはどうか。

課長 警察や青少年関係者の意見を伺い研究し、予算化についても検討したい。

問 道路整備事業の志



老朽化の宇美交番

免・宇美線及び光正寺・井野線の交付金が減額されていると聞き及んでいるが、今後の対応は。

町長 この道路は、宇美町民の積年の願いであり、町の発展には欠かせない重要で大きな要素である。

一日も早く全線供用開始に向け今後も国交省、県関係各所に度重なる陳情活動を行い、志免町とも強い連携を図り、積極的に取り組む。

問 町長の庁舎建設に係る基本的な考えは。

町長 町の将来像をしっかりと見据え、中長期的なスパンで財政シミュレーションを行う。

重要な要件である新庁舎の場所、規模の問題等、それから庁舎の機能などは、商工業関係者、農林業関係者、区長、関係機関、各種団体をはじめ、幅広く町民の意見、要望を拝聴し、慎重かつ丁寧に段取りを整えて決定して行う。

現段階では、全てがこれからである。

町民の健康づくりに つながる食育の推進を

【答】食育推進計画の策定に 取り組む



南里 正秀 議員

問 食育基本法では

「食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきもの」と位置づけられている。学校、保育園での食育の取組は。

学校教育課長

各教科や領域、総合的な学習の時間に学校教育活動全体を通じて食に関する取組を進めている。

子育て支援課長

すべての園で食育計画を作成し、栄養士、保育士、調理員、看護師と連携して年齢に応じた指導をしている。

問 地産地消の取組は。

学校教育課長

糟屋産の果物・野菜や宇美町で活動されている「さんさん21」で作られた玉ねぎ等を食材に取り入れている。

問 「食育」の観点から

の農業政策は。

農林振興課長

地域交流事業として糟屋南部三町とJA粕屋共同で「ふれあい交流農園収穫祭」を実施しており、昨年は160名参加。

今年10月に宇美志免浄化センター近くの農地で落花生の収穫を企画している。

また、町内3農園で土作りから種まき、苗の植え付け、管理、収穫まで一連の野菜栽培を体験できる町民農園事業を実施している。

今後は旬の作物に触れ合う機会や農家と子どもたちとの交流の場を設け、農産物に対する喜びや感謝の気持ち、食物の大切さを学び、育んでいけるような農業施策を展開したい。

問 学校給食費、保育料の収納状況は。

学校教育課長

平成26年度は小学校で5件、中学校で4件

未納が発生。徴収率は

99・8%

子育て支援課長

平成23、24年度に引き続き26年度も未納ゼロ。

問 小学校の給食配膳室にエアコンが設置されていない。食の安全のため温度管理が必要ではないか。

学校教育課長

現在直前に配膳、長く放置しない工夫をしているが、エアコン設置を検討したい。

問 乳幼児から高齢者

まですべての町民の健康のため「食育」を推進することは、町財政を圧迫している県内でもトップクラスの医療費を抑制することにもつながる。食育推進計画を策定する考えは。

町長 近年、食を取り巻く環境が非常に大きく変化している。今後、学校教育における食に関する指導の充実や農業をはじめとする産業振興、住民の健康保持・増進などを目的とした食育推進計画の策定に取り組みたい。



保育園での楽しい給食



昭和の森 トイレ改修基金 を創設しては

答 ふるさと応援寄付金制度 をアピール

藤木 匠 議員

問 糟屋郡で宇美町だけが人口減少。企業誘致等も必要と考えるが、6月に予算化された地方総合戦略策定支援業務による人口ビジョンの策定の方策及び効果は。

答 政策経営課長
8月20日にコンサルタントと委託契約を締結。現在は、いくつかのパターンで人口の推移を示すグラフ等を作成中であり、どのような効果が期待できるかは今後の課題。

問 農林業も衰退の一要因。農協や県の普及所の指導で、集落営農等の模索が始まったが、町の支援も必要ではないか。

答 農林振興課長
町の補助制度としては、集落営農組織に対し「宇美町農業振興推進事業費補助金」の制度が適用される。施設園芸に必要なビニール

ハウスの購入や米や麦の生産に必要なトラクター、コンバイン等の機械購入に対して概ね事業費の3割から5割の補助金が支払われる。

問 11月1日のアピスパ福岡対横浜FC戦の「宇美町応援デー」での宇美町のアピールは、まちづくり課長

答 町民限定の観戦招待、指定席の優待料金、試合前の木原町長の挨拶等を計画している。また、大型ビジョンでの宇美町のPRビデオ放映も検討中。

スタジアムの外では、宇美町の観光マップや登山道マップの配布のほか宇美町商工会とも連携した出店者も募集している。

問 宇美町山の会の協力で「四季折々の魅力発見・宇美町三郡登山」が企画された。今後の観光事業の取組は。



宇美八幡宮に増設された女性トイレ

課長 秋の紅葉登山に続き、冬の河原谷の大つらら、春の息吹を体験しながらのウォーキングを企画している。

問 宇美町の観光の目玉は、宇美八幡宮と昭和の森に代表される。宇美八幡宮は、大勢の参拝者で賑わっており、要望が多かった女性トイレが増設された。

一方、昭和の森は十数年来の要望にも関わらず改修されていない。整備を進めるために基金を創設してはどうか。

課長 基金の創設も有効な手法であるが、当町では自然環境の保全を目的とした寄付もできる「ふるさと応援寄付金」制度を設けており、アピールしたい。トイレ改修等の環境整備を含め、宇美町の観光振興を進めるための中長期的な計画の策定が必要と考えている。

自転車のマナー向上を

答 町民への周知拡大を図る



黒川 悟 議員

問 本年、改正道路交通法が施行された。本町の改正前の取組は。

建設課長

毎年4月から6月の間、警察署による交通指導教室が各小学校で行われている。

内容は、小学校1年生に歩行の交通安全指導、4年生には自転車の交通安全指導を行っている。

さらに、交通安全町民運動期間の街頭キャンペーンを始め、福岡県交通安全協会発行の「交通安全ふくおか」を各行政区へ回覧で啓発活動を行っている。

問 法律の改正で、違反行為14項目をした運転者は、警察官から勧告を受け従わない場合は、交通違反切符が付され、3年間に2回以上検挙された14歳以上の運転者に講習が義務化。

講習を受けないと5万円以下の罰金が課せられる。

運転者に内容を理解してもらうために、わかりやすく指導、安全講習を周知徹底する必要があると思うが、今後の取組は。

課長 違反行為14項目を周知徹底するため、警察署や安全協会などと連携し、交通安全キャンペーンや町広報を介し、各区に回覧等で町民への周知拡大をしていきたい。

問 自転車も凶器になるという認識が必要。加害者として高額な賠償を命じられるケースも多くなった。

賠償問題 なることを考えると、保険加入が必要では。

課長 高額な賠償を伴う深刻な問題。自転車保険へ加入促進については検討し、利用者に周知していきたい。

問 小、中学生の安全教育に対する今後の取組は。

学校教育課長

小学校5、6年生を対象に、各学校、学級で安全指導を行い、保護者向けにリーフレットを配布、夏休み前にはPTA主催の地域集会で安全指導を行っている。

中学校は保健体育や学級活動、夏休み前の生徒指導等を通し安全指導を行っている。

今後とも継続し取り組んでいきたい。

問 交通事故防止と自転車運転による危険・迷惑行為の防止策として取り締まり強化と道路環境の整備が必要と考えるが。

建設課長

重大な事故が起きないよう警察と協議する。道路環境整備は、地域の実情や住民のニーズ、交通渋滞等の把握



宇美駅駐輪場周辺

その他の質問
◆桜原小学校入口信号の歩行者に対する安全対策。

に努め、関係機関と連携し、調査研究をしていく。



鳴海 圭矢 議員

育休退園への対応は

答 保育ニーズに的確に
対応できる施策の
推進に努める

問 第2子を出産し育休を取得した場合、第1子を退園させる育休退園については自治体の裁量によるものとなっているが、今年6月に埼玉県所沢市で保護者が市に退園させないよう求める行政訴訟を埼玉地裁に起こした。子どもたちの健全な成長のためには連続した保育環境を保障する必要があり、集団保育には非常に大きな意義があると思う。当町の対応はどうなっているのか。また保護者にはどのように説明しているのか。

子育て支援課長
当町の運営では、育児休暇中であれば第2子出産以降、家庭で保育されることになるので、第1子も当然家庭で保育できるということから、保育要件を満たさないため退園していただいている。

ただし保護者が病気になるのも保育要件を満たすことになる。出産後、体調の変化で保育できない、またネグレクト（育児放棄）のような状況であれば継続して受け入れられている。

周知のしかたについては入園のしおり等にも掲載し、保護者には重々説明している。

問 育休退園が産み控えにつながることを心配している。今、国をあげて少子化対策に取り組もうとしている。安心して出産、育児ができる環境を整えていくことが、自治体の一番大事な責任だと思ふ。

育休退園の解決のためには受け皿体制の強化、子育て支援に対する予算の拡大が求められると考えるがどうか。

町長 当町では本年4月から「子ども・子育て

新制度」が実施されたことに伴い、今後5年間の方向性を示した「宇美町子ども・子育て支援事業計画」を策定した。

この計画では公設・民営等を含めて定数が40名になっていて、640名になっていて、5年後、平成31年には定数860名へ拡大することになっている。今年度、新たに定数120名の認可保育所



安心して保育できる環境に

を整備中で、来年度は定数760名に拡大の予定。

今後とも待機児童の解消、保育ニーズに対応できる施策の推進に努めたい。

その他の質問

- ◆電気柵事故対策
- ◆バリアフリーのまち作りへ。音響装置付き信号機の設置を

宇美町人口ビジョン と総合戦略の策定

答 第6次総合計画を
具現化するものとして
位置づける



脇田 義政 議員

問 国は今後の人口減少に対応できる持続可能な地域社会の創造を重要政策課題として位置づけ、東京一極集中の是正と出生率向上に向け、2060年時点でも人口を1億人程度で維持することを最大の目標とする人口減少対策の総合戦略を立てている。

町 国の計画に基づき人口ビジョンと総合戦略の策定を求められているが、地方創生や人口減少対策は短期間で成果が出るような課題ではない。長期的視点で取り組むべき課題であると思われるが、町の姿勢と考え方を問いたい。

政策経営課長

第6次宇美町総合計画を具現化するものとして、宇美町総合戦略を位置づける。また、8年間としている総合計画との整合性を図ることにより、中長期的

な視点を取り入れた計画とする。

問 日本の人口は、現在、1億2千万人であるが、2060年時点でも1億人程度で維持することを地方創生では目標としている。この数字を実現するには、我が国全体の人口の減少率を約30%減から約17%減ぐらいに抑えなければ達成できないと言われている。

宇美町の減少率が17%以上になるようであれば、少なくとも平均の17%ぐらいにすることを目標とすべきだと思われる。

町としては、このような状況をどのように捉えて、人口ビジョンを策定されるのか。

課長 国の長期ビジョンにおいては、2060

年に1億人程度の人口を確保することとしているが、国が想定する減少率を宇美町に当て

はめて計算すると2060年の人口は3万1400人になる。これは、あくまで国が想定する合計特殊出生率を単純に掛けた場合である。

人口シミュレーションについては、社会増減等の条件設定の要件もあり、国・県との整合性を図りながら人口ビジョンを策定したい。

問 地方創生や地域づくり、人口減少対策といった課題は、国の財

政誘導策等がなくても町が本来的に取り組んでいく課題であると思う。

町の自然、環境、資源を生かした戦略的、重点的課題と目標を設定することが大切だと思われるが。

課長 総合計画に定める基本理念に沿った町づくりを進めるため、宇美町が誇れる自然、歴史的・文化的資産を生かした戦略的、重点的課題と目標を設定したい。



井野山から望む宇美町中心部



深刻な教員不足 採用増やすべき

答 県で配置された 職員で当たる

大瀬良 利之 議員

問 先日、大学生に臨時免許という報道があり、教員不足がそこまで深刻なのかと驚いた。臨時免許の授与は福岡県全体で342名、小学校で135名となっている。宇美町の小学校の事例はどうかっているのか。

学校教育課長

臨時免許は普通免許状を有する者を採用できない場合に都道府県の行う教職員検定に合格すると授与されるもので有効期限は3年。現在、宇美町では井野小学校に1名配属されている。

問 確認のため質問するが、この制度は特に講習や研修を受けることなく、学校長が人物証明書を添えて県に申請して、書類審査をす

るということになるのか。

課長 例えば推薦などはあると思うが、都道府県が行う教職員検定に合格する必要がある。

問 必要な先生が配置されない定数欠が起こっている学校もあると聞いた。

当町では今年度4月当初の定数欠はあるのか。

課長 宇美町では欠員はない。

問 今や少人数学級は国民の願いであり、特別支援教育などの新たな教育ニーズが拡大している。

町として少人数学級の計画的実施、正規採用を増やす独自の計画を持つべきではないか。

教育長

宇美町立小中学校の状況を見てみると、確かに講師の比率は多いが、4月時点で定数の常勤講師は全て配置されている。

小中学校8校全て支

障のない学校運営ができています。

町で雇用する教職員については、さまざまな状況を考えねばならず現在のところは県で配置された職員で当たっていく。



日々努力する教職員

総務建設常任委員会

委員長	藤野 莞嗣
副委員長	脇田 義政
委員	小林 征男
委員	藤木 匠
委員	黒川 悟
委員	鳴海 圭矢
委員	時任 裕史

建設課

筑紫野・古賀線（県事業）
志免・宇美線（県事業）
光正寺・井野線（町事業）
の進捗状況

県道筑紫野・古賀線は、総延長33・28kmのうち、13・62kmが4車線化完了。

宇美町内は、本年4月10日に須恵町境から宇美東1丁目間、1・4kmが供用開始された。

残りの2・1kmについても地元説明、用地交渉に入っていく予定である。

県道福岡・太宰府線の代替道路として整備を行っている

志免・宇美線は、県が事業認可取得に向け、国交省と協議

中。2町では志免・宇美線道路建設促進期成会を設立し、

志免・宇美工区、延長1・59kmの平成35年度の完成に向け、

建設促進を国交省、県に働きかけている。

光正寺・井野線は、今年度

宇美川右岸側の道路改良工事並びに橋梁上部工と関連する

道路造成工事を実施予定。ただし、橋梁上部工については、

国の交付金が要望額の3割弱しか付いておらず、来年度までの継続事業として承認を受け、

高い交付率を期待したい。

平成28年度は、県道福岡・太宰府線及び志免・宇美線へ

接続する道路改良及び舗装工事

を計画。平成28年度末に供用開始を予定。

Q 筑紫野・古賀線の町内未整備区間の完了見込みは。

A 町内の整備は現時点では、平成33年度を予定している。

Q 橋梁上部工については、国の交付金の関係で遅れるということであるが、見通しは。

A また、福岡・太宰府線へ接続すると交通渋滞や通学等の問題が考えられるが。

A 国の予算が、震災復興、オリンピック関連予算に重点配分、国交省の公共事業予算も昨年度に比べ非常に厳しい状況である。

今月まで3回国交省に要望に行っている。来年度には事業が完了するよう努力する。

また、交通安全、通学等の問題については、地元と協議を行っていききたい。



▲光正寺・井野線橋梁工事



▲筑紫野・古賀線

都市計画課

小水力発電導入可能性調査業務委託

一本松公園内水域で小水力発電が可能かどうか現地調査を行う。期間は平成27年8月11日から平成28年3月18日まで。

Q 調査にあたって有識者会議、ワークショップなどを行うと思うがどうか。

A メンバーとして水利関係者、山の会、ホテルの会など5名想定している。県職員からもオブザーバー的に参加の申し出があつている。

有識者会議は現地調査を行った後に1回、可能性調査で2回目、その後の方針の策定と計3回行う。

厚生文教常任委員会

委員長	飛賀 貴夫
副委員長	犬塚 齊
委員	松下 弘毅
委員	大瀬良利之
委員	藤木 匠
委員	南里 正秀
委員	古賀ひろ子

教育委員会

宇美町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告

点検・評価に関する有識者からの意見は次のとおりである。

宇美町では教育事業と関連して地域活性化や町民参画が着実に図られてきていることが評価できる。

今後はコミュニティ・スクールとコミュニティづくりが相乗的に効果を上げていくことが期待される。目標設定に

関してさらなる精緻化を行い、検証しながら改善していくことが必要である。

Q コミュニティ・スクールと地域コミュニティが混同して分かりにくい。

A 各小中学校に学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールと全国的に言う。まちづくり課が進める地域コミュニティ事業とさらに連携し、分かりやすい説明に努める。



▲コミュニティ・スクール

学校教育課

主な入札・随意契約結果報告

宇美南中学校屋内体育館非構造部材改修工事（つり天井の耐震改修）は入札、松井工業(株)、契約金額は3917万9160円で全額国庫補助対象。

宇美東小学校外壁・防水改修工事（校舎南棟一部）は入札、中川工務店宇美(営)、契約金額は3298万8600円。

宇美小学校ビオトープ移設工事（学童保育所新築に伴う移設）は随意契約、(株)緑創、契約金額は306万7200円。

宇美小学校防水改修工事（パソコン教室への漏水改修）は随意契約、(株)フソウ、契約金額は128万5200円。

Q 宇美小学校の防水改修工事を終え、今回の台風の影響はなかったか。

また、かし担保期間は。

A 全施設の確認を行ったが雨漏りはない。保証協会の保証期間は10年。



▲宇美小学校

社会教育課

第31回日本図書館協会建築賞を受賞

宇美町立図書館は、優れた図書館建築と子ども読書リーダー養成講座や図書館を使った調べる学習コンクール等の図書館の取組が評価され、10月15日、第101回全国図書館大会東京大会において表彰される。

Q 宇美町の図書館が選ばれた選考過程は。

A 図書館を設計した(株)日本設計が応募。

その後、図書館協会の審査員4名による現地調査を受け、

館長等への聞き取り、建築の現況、運営・利用状況の把握など慎重に審議を重ねられ選考された。



▲東京大会シンポジウム パネリスト木原町長

子育て支援課

随意契約結果報告

宇美小学校学童保育所新築工事実施設計業務委託は随意契約、(株)西島建築設計事務所、契約金額は199万8千円。

柳原保育園1歳児保育室工、アコン取替工事は随意契約、ダイキン工業(株)、契約金額は69万1200円。

